

開館25周年記念

# 華嚴社 下野の画人たち

小堀 鞠音  
荒木 月畝  
荒井 寛方  
小杉 放庵  
岡田 蘇水  
関谷 雲崖  
福田 浩湖  
小林 草悦  
戸室 臨泉  
松本 姿水  
石川 寒巖  
武井 見陵  
大貫 鏡心  
河内 舟人  
大山 雅堂

2022.

09.17 sat - 11.20 sun

25TH ANNIVERSARY OF KOSUGI HOAN MUSEUM / "KEGONSYA": Painters in Tochigi Prefecture  
KOBORI Tomoto / ARAKI Geppo / ARAI Kanpo / KOSUGI Hoan / OKADA Sosui / SEKIYA Ungai  
FUKUDA Koko / KOBAYASHI Soetsu / TOMURO Rinsen / MATSUMOTO Shisui / ISHIKAWA Kanagan  
TAKEI Koryo / ONUKI Teshin / KAWACHI Shujin / OYAMA Gado

"Kegonsha in  
Painters in  
Tochigi Prefecture"

01  
 歴史画を手がければ  
 右に出るものなし。  
 小堀朝音  
 KOBORI Tomoto  
 ▼《清正堂畫像》佐野市立吉澤記念美術館寄託

02  
 花鳥画を愛した  
 華嚴社の紅一点。  
 荒木月敏  
 ARAKI Geppo  
 ▼《十友圖》個人蔵  
 ▼《草花図屏風》(左隻) 個人蔵

04  
 仙人から  
 フォーツまで。  
 墨で何でも描きます。  
 小杉放庵「放菴」  
 KOSUGI Hoan  
 ▼《雲山入聖圖》  
 小杉放菴記念日光美術館  
 ▼《闘球圖》個人蔵

KOSUGI HOAN  
 MUSEUM OF ART,  
 NIKKO

03  
 言わずと知れた仏画の王者。  
 動物を描くのもお手のもの。  
 荒井寛方  
 ARAI Kanpo  
 ▼《雷虎》 栃木県立美術館

05  
 32歳から絵を  
 学び始めた  
 運慶の南画家。  
 5年後の実力は  
 このとおり。  
 関谷雲崖  
 SEKIYA Ungai  
 ▼《深山新線図》  
 大田原市黒羽芭蕉の館

KOSUGI HOAN  
 MUSEUM OF ART,  
 NIKKO

“栃木県は文化不毛の地”なんともおせなれ!

06  
 田派ぞなえて呼ばないで!  
 時代に流されず理想郷を描く。  
 岡田蘇水 OKADA Sosui  
 ▼《松葉仙鶴圖》佐野市立吉澤記念美術館寄託

08  
 花鳥画に  
 セクニブムの  
 息吹を注ぎこむ。  
 松本姿水  
 MATSUMOTO Shisui  
 ▼《霧の朝》  
 宇都宮美術館

07  
 東京生まれだがひと  
 親が日光出身  
 という尊に  
 参加していました。  
 福田晋湖  
 FUKUDA Koko  
 ▼《証王寺》  
 佐野市・善増寺

# 華厳社 下野の画人たち

小杉放菴記念日光記念美術館では、企画展「華厳社—下野の画人たち」を開催いたします。  
華厳社は、1929（昭和4）年12月に、東京で活躍していた栃木県ゆかりの日本画家たちによって結成されたグループです。この月に開催された第一回東京展に出品した同人は、小堀鞆音、荒井寛方、小杉放庵（放菴）、岡田蘇水、関谷雲崖、福田浩湖、小林草悦、松本姿水、石川寒巖、武井晃陵、大貫鏡心（徹心）、河内舟人の12名。  
翌月1930（昭和5）年1月には宇都宮展が開催され、ここで荒木月畝、戸室臨泉、大山雅堂（魯牛）が加わり、計15名による集りとなりました。  
また同じく栃木県出身で美術雑誌『美之国』を主宰していた石川幸三郎が、理事として同会を支援していました。

その後、『日本美術年鑑』には昭和17年版（1943年3月刊）まで存在が記録されているものの、具体的な活動は確認できません。

おそらく1931（昭和6）年の小堀鞆音急逝により、正式な解散はしないまま、活動停止状態にあったのではないかと推測されます。実質1年にも満たない短い活動期間で終わってしまったため、これまでその活動内容について十分な調査研究がなされてきませんでした。しかし、華厳社に参加した画家たちのなかには、美術史に大きく名を残している大家から、現在では忘れられかけている画家まで含まれており、そんな彼・彼女らが同じ舞台上で作品発表をしていたということは、たいへん興味深いことではないでしょうか。

それだけでなく、華厳社の活動には下野新聞社も大きく関わっており、戦前における美術団体と地方新聞社との関係についても考えさせられます。そもそも華厳社の設立自体に同社が関与していた可能性が高く、これに連動して創設された公募展「下野美術展覧会」は10年近く続き、華厳社の画家たちもその審査に関わるなど、栃木県下の美術教育への影響は、決して小さくないものだったのです。

本展では、この華厳社の画人たちの1920～30年代の代表的な作品を一同に会し、栃木県が輩出した優れた画人たちの優品をご紹介しますと共に、その存在意義について再考してみたいと思います。

## GALLERY TALK

[学芸員によるギャラリー・トーク]

9月17日[土] / 10月14日[金] / 11月19日[土]  
各時間=午前11時～（1時間程度）

14 「魯牛」の身で知られる永遠の南画家。  
今回は「雅堂」時代に注目あれ。  
大山雅堂「魯牛」 OYAMA Gado  
▽《舞臺》 栃木県立美術館

13 女の子だつて鯉のぼりを  
染してみたい！を絵た。  
河内舟人  
KAWACHI Shujin  
▽《五月晴れ》 個人蔵

12 華厳社一のカラーリスト。  
山水画だつて濃厚た。  
大貫鏡心「徹心」  
ONUKI Tresshin  
▽《霧降の滝》 栃木県立美術館

10 放菴がその才能を惜しんだ夭折の南画家。  
石川寒巖 ISHIKAWA Kangan  
▽《松石不老図》 栃木県立美術館

11 足利が生んだ  
もう一人の歴史画家。  
武井晃陵  
TAKEJI Koryo  
▽《藤葉城》 個人蔵

09 今市生まれの日本画家。  
小学校秘蔵の作品を公開。  
小林草悦  
KOBAYASHI Soetsu  
▽《春光》 個人蔵  
▽《鏡》 日光市立今市小学校

# 下野の画人たち

開館25周年記念

小堀 朝音  
荒木 月歌  
荒井 寛方  
小杉 放菴  
奥田 鍾水  
関谷 豊雄  
福田 清湖  
小林 亨悦  
戸室 昭麻  
松本 姿水  
石川 寒巖  
武井 景隆  
大貫 鏡心  
河内 舟人  
大山 雅堂

"Kegonsya"  
Painters in  
Tochigi  
Prefecture

- 01 小林亨悦《春杪》個人展
  - 02 阿田清水《松深山陰図》佐野市立吉澤記念美術館寄託
  - 03 小堀朝音《清正望雲掛図》佐野市立吉澤記念美術館寄託
  - 04 大貫鏡心《霧降の滝》栃木県立美術館
  - 05 小杉放菴《御珠図》個人展
  - 06 白川龍雄《松石不老図》個人展
  - 07 荒井寛方《松山入道図》個人展
  - 08 荒木月歌《十友図》個人展
  - 09 小杉放菴《雲山入道図》個人展
  - 10 小杉放菴《雲山入道図》個人展
  - 11 関谷豊雄《深山脈絡図》大田市黒羽町小学校
  - 12 小杉放菴《龍王寺》佐野市・浄瑠璃寺
  - 13 福田清湖《龍王寺》佐野市・浄瑠璃寺
  - 14 荒井寛方《竜虎》栃木県立美術館
  - 15 河内舟人《五月晴れ》個人展
  - 16 松本姿水《霜の嶺》宇都宮美術館
  - 17 荒木月歌《雲花回廊図》個人展
- ※作品はすべて部分

2022.

09.17<sup>Sat</sup> - 11.20<sup>Sun</sup>

[主催] 公益財団法人小杉放菴記念日光美術館 / 日光市 / 日光市教育委員会 / 下野新聞社

[開館時間] 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

[休館日] 毎週月曜日(9月19日、10月10日は開館し、その翌日を休館)

[入館料] 一般730(650)円、大学生510(460)円、高校生以下は無料

※( )内は20名以上の団体割引料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、日光市公共施設使用料

免除カードの交付を受けた方とその付き添いの方1名は無料

※第3日曜日「家庭の日」(9月18日、10月16日、11月20日)は、大学生は無料

※日光市民は一般300円、大学生200円、高校生以下無料

\*新型コロナウイルスの感染状況により、会期等が変更になる可能性があります。

お出かけ前に、当館ホームページをご確認いただきますよう、お願い申し上げます。

## ACCESS INFORMATION

◎電車＝

東武日光駅、JR日光駅から東武バス「世界遺産めぐりバス」

もしくは奥細尾、清滝、中禅寺温泉、湯元温泉方面バス5分。

「神橋」停留所より徒歩3分。

◎車＝

日光宇都宮道路・日光インターから約2km

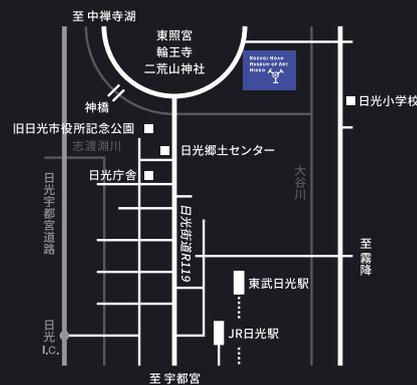
◎駐車場＝

併設の市営駐車場をご利用ください。

美術館受付で駐車券を提示していただくと、

1時間まで無料となります。

とくに紅葉時の休日、美術館周辺はたいへん混み合う場合がございますので、時間には余裕をもってお越しください。



## 次回予告

「描く」を超える — 現代絵画 制作のひみつ —

2022年11月26日[土]～2023年1月29日[日]

KOSUGI HOAN  
MUSEUM OF ART,  
NIKKO



小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 栃木県日光市内 2388-3  
Tel. 0288-50-1200 Fax. 0288-50-1201



www.khmoan.jp

25TH ANNIVERSARY OF KOSUGI HOAN MUSEUM / "KEGONSYA": Painters in Tochigi Prefecture

KOBORI Tomoto / ARAKI Geppo / ARAI Kanpo / KOSUGI Hoan / OKADA Sosui / SEKIYA Ungai / FUKUDA Koko / KOBAYASHI Soetsu  
TOMURO Rinsen / MATSUMOTO Shisui / ISHIKAWA Kangan / TAKEI Koryo / ONUKI Tesshin / KAWACHI Shujin / OYAMA Gado